

2020年1月5日 スペシャルアップデート

アミール・ツアルファティ

- イラン情勢・司令官ソレイマニの死 -

<https://youtu.be/clMxzna3go>

最初に、過去数時間のイベントから始めましょう。まず第一に、ソレイマニとその仲間の殺害に加えて、数時間後に別の空襲があったことも分かっています。バグダッド北部でイラン革命防衛隊の上級メンバーを率いた車列を攻撃しました。アメリカは、それには貢献していないと言いました。その軍事行動は、だれも責任を取りたがらないもののようです。その背後にだれがいるのか、私が知っていることを皆さんも、おおよそ想像がつくでしょう。

さて、別のイラン革命防衛隊の上級メンバーがイエメンのサヌアで殺されたこともお知らせしたいと思います。彼は資金集めや、すべての金融ネットワークをして、イラン人とイエメンのフーティス（フーティ派）をつなげている人物でした。もちろん、イエメンで起こっていることは、ソレイマニ司令官の小童（こわっば）たちのプロジェクトの1つです。それについても、お話しします。

また、イスラエルが昨夜、ブカマルの町で、シリア・イラク国境の最大のイラン基地を襲撃したことを知っておいてください。我々は、ゴラン高原に向けてロケット弾を打ち上げる準備のあったロケット発射装置を破壊しました。我々は、イランが民兵部隊によってそれを行おうとしているという情報を受け取りました。そして、新しいF-35戦闘機を使用して、それを破壊しました。我々はまさにシリアを横切ってイラクとの国境まで飛び、その襲撃を行いました。

もう一つ皆さんが知っておいてもよいことは、地球上の別の場所、リビアでトルコの勢力とリビア内のトルコの駐留軍に対する大攻撃があったことです。皆さんが知っているかどうか分かりませんが、リビアには2つ以上の政府があります。そのひとつは2015年12月に国連とEUによって設立された政府で、それがあちらで承認されている政府です。これはGNA、国民合意政府と呼ばれています。そして、それはエルドアンが互いに取引をしているものです。そして、彼らの基地が国内の他の政府によって攻撃されました。リビア国民軍（LNA）は、ハフタル将軍が率っています。彼はかつてCIAで働いていた将軍で、いまはロシア人と協調しています。基本的に、彼はリビアを支配したがっており、国土の大半と石油やガスの貯蔵のほとんどを支配しています。彼はジェット機の1つを使って、基地に爆弾を落としました。トリポリのすぐそばのミティガのミティガ基地です。そして、基本的に彼らが破壊した施設は、トルコがドローン用の基地として準備しているものでした。無人航空機（UAV）用のものです。トルコのパイロットを含め、少なくとも20人がその攻撃で死亡したことが分かっています。だから、世界ではその地域でも緊張が高まってきています。ですから皆さん、リビア、トルコ、イラン、ロシアのことを忘れないでください。なぜなら、一番最後には、すべてが落ち合いますので。

また、イラク議会は米軍をイラクから追い出すことを決議したばかりです。これは冗談みたいに聞こえます。アメリカはイラクを暴君サダム・フセインから救いました。これは冗談みたいな話です。アメリカはイラク人を訓練しています。アメリカはイラク人の面倒を見ている。しかし皆さんは知らないかもしれませんが、オバマ政権下で、基本的にイランがイラクを乗っ取りました。イラクはいまや基本的には、イランの一部です。ソレイマニが何の問題もなくバグダッドに出入りしていたのは、そのためです。彼はだれが自分のことを見ているか、全く心配していませんでした。彼はそこはイランの一部だと思っていました。これはイラン革命防衛隊の最大のプロジェクトです。そしてイラクは現在、直接イランの命令によって活動している民兵でいっぱいです。そのために、ソレイマニはカタイブ・ヒズボラを含むいくつかの民兵組織を準備するために、非常に精を出して働きました。それは別のヒズボラで、レバノンのヒズボラではありません。そして、ほんの数日前にバグダッドの大使館襲撃を行ったのは彼らです。そういうわけで、要するに緊張が高まって

きていることが分かります。私たちが話している間にも、何千人もの米軍が中東に向かっています。少なくとも2000人の海兵隊員が現在移動中です。私たちは、アメリカがF-35（ステルス戦闘機）、F-22（ステルス戦闘機）、C-130（輸送機）、アパッチ対地攻撃ヘリコプターを送ったことを知っています。F-35とF-22のことですが、これはトランプが今朝ツイートしたことを実行するために待機しています。それは、イランが報復として何かをした場合には、彼がイラン国内の52ヶ所の標的を排除できるというものです。皆さん、あちらでは間違いなく緊張が高まっています。

では、皆さんをずっと過去にまでお連れしたいと思います。お願いがあるのですが、人差し指でこのボタンを押して（こめかみを指して）、そして、ここに入っているものをすべてリセットしてみましょう。そしてイラン革命の始まり、失礼しました。イランのイスラム革命の始まりまで戻りましょう。1953年、シャー・パフラヴィーは、その地を支配するべく、イギリスとアメリカによって連れ戻されたことを理解する必要があります。それは、彼らがイランの石油とガスに出資をするためでした。当時のイランは石油を地下から掘削するだけでなく、石油を精製する面でもエネルギー超大国でした。それ以来、言うまでもなくイラン・イラク戦争によって製油所は廃れました。そして、イランは彼らの製油所を復旧することができませんでした。そのため、彼らは地下から石油を抽出し、それをそのまま販売しているだけです。さて、次のことも知ってもらいたいのですが、1977年の2月に、アヤトッラ・ホメイニは、イランを奪取するために、はるばるパリからやって来ました。何百万人もの人々が通りに繰り出してシャーの解任を要求した後に、シャーはアメリカまで逃げました。そして、私たちは彼の家族が今日までそこに住んでいることを知っています。そしてイラン革命、イスラム革命が始まりました。ちなみに、それは左翼リベラル派ととも厳格なイスラム聖職者たちの双方で始まりました。彼らが協力して…、一聞いてくださいー イランに対する西側の影響力を取り除くために。当時の左翼は非常にマルクス主義で、マルクス主義と社会主義をもたらすために、革命にととも関心を持っていました。そして、彼らはチェ・ゲバラや他の人たちの刺激を受けていました。そして、イスラム当局は当然、西洋の影響がイランの女性たちに世俗的な文化に及ぶのを見たくありませんでした。そして、基本的にそれがイランのシャーを追放する上で両者を協力させることになりました。1977年2月1日、ホメイニはエールフランスでパリから到着し、国を奪取しました。そして数日後には、リベラル派と左派には、自分たちが実際に負けたことが明らかでした。そして何が起ころのかというと、イランはイスラム共和国になります。そして、何か理解することがあるとすれば、シーア派の大計画は…（これは注意深く聞いてください）シーア派の大計画は2つあります。

- ①イスラム世界に対するすべての西洋の影響力を完全に根絶する。
- ②イスラム世界を乗っ取ること、です。

現在、彼らはイスラムの20%未満です。イスラム世界の大半はスンニ派です。そしていま、イランの最大のライバルはサウジアラビアです。なぜなら、サウジアラビアはスンニ派であるだけでなく、イスラムの聖地を支配しているからです。だから勘違いしないでください。イランと西側、西洋文明の間の戦いは目印に過ぎません。それは、イランの最終目標に向かう道の道しるべに過ぎません。それはサウジアラビアを乗っ取り、シーア派をイスラムにおける唯一の流派として確立することです。そして、そうすることによって、マフディ、つまり彼らの救世主が戻る道を準備することです。だから皆さんは、もうイランのイスラム教シーア派の役割を理解していますね。

- A)西洋文明と西洋の影響力をすべて押しのけること。
- B)イスラム世界を乗っ取ること。

これで、カセム・ソレイマニの役割が何だったのかが分かりましたね。彼は基本的にアヤトッラーを代表する請負業者で、モスクで説教をするために行くだけではなく、同盟を作ったり、組織を作ったりするのは彼です。政府を倒し、すべての近隣諸国にイランの影響力をもたらすためです。実際、ひとつ言っておきましょう。イランの教義の一つは、基本的に、イスラエルを取り囲み、窒息死させることでした。昨夜、イスラエルの評論家の一人が言いました。「ソレイマニの死は、ラインハルト・ハイドリヒの死に等しい」彼は「ユダヤ人問題の最終解決」を考えついたナチスの将校でした。イランは、すべてのユダヤ人を追い出し、可能ならば、もちろんイスラエルを地図上から完全に消し去ることを望んでいます。そして、イランが今日イス

ラエルにしたがっていることは、言うまでもなく、80年前にナチスがユダヤ人にしたかったことです。ソレイマニの死は、イスラエルにとって国家の設立以来の最大の敵の死です。私は皆さんにユダヤ人国家、イスラエルにとってのこの男の死の重大さ、重要性を理解してほしいと思います。イスラエルはソレイマニを殺したいと望んでいましたが、彼は一筋縄ではいきませんでした。どうしてか知っていますよね。彼は主権国家を代表する司令官です。銃を取って誰かを撃つのは、彼ではありません。彼は、いつもそのためには他の人たちを使っているのです、彼を倒すのは簡単ではありません。確かに、その周りを民兵やテロリストに囲まれた小さな国には簡単なことではありません。だから、イスラエルは非常に慎重でしたが、米国となると、話は異なります。米国は、すでにオバマの時代にソレイマニを殺す機会がありましたが、オバマはその意図を阻止しました。実際、それだけではなく、オバマの時代はソレイマニの最高の時代でした。なぜなら、ソレイマニはオバマ政権下で、イエメン、イラク、シリアにその影響力を拡大することができ、レバノンでの彼の締め付けを強化し、イスラム・ジハードとガザのハマスに数億ドルを送ることができました。そして、そのことは、ほんの数ヶ月前のサウジアラビアの石油産業への攻撃について、イランにあの大胆さを与えました。ソレイマニ司令官は、陸軍で最高位の将軍ではありませんでした。しかし彼の役割に関しては、彼はピラミッドの頂点にいました。彼はイランの最高指導者に対してだけ義務を負っていました。それだけです。だから、多くの人が基本的に彼はイランでナンバー2だと思っているのです。アヤトッラー・ホメイニはソレイマニ司令官を「生ける殉教者、生けるシャヒード」と呼んでいました。さて、いまや彼は死んだ殉教者です。殉教は命ではなく死に関するものであり、あれは自己実現した予言だったのかもしれませんが。とにかく彼は常に利口で、才能があり、ものすごく戦略的な考え方をする人物として知られていました。そして彼は近年、多大な圧力の下で、基本的にミニシア派帝国を作り上げることに成功しました。いま、皆さんは理解しなければなりません。前政権（アメリカ）は、実際にソレイマニを殺す意向を阻止しただけではなく、現実にイランに1500億ドルを与えました。そして、そのお金のすべては、イランの人々には届きませんでした。ところでイランについて話すとき、私はアヤトッラーとムラーのことを言っています。イランの民衆のことではありません。彼らは、この政権が終わることを願う素晴らしい人々です。彼らはすでに、このイスラム革命の悪夢から目を覚ましました。革命の純粹さ、人々の世話、すべての腐敗の根絶は、実際には、彼らが奪取した数週間後にはなくなりました。そしていま、あちらで最も腐敗した人々は彼らです。しかし皆さんに知ってもらいたいのですが、前政権のメッセージは「どうぞ。あなたたちは活動していいだけでなく、私たちは実際にあなたたちに資金を提供できます」というものでした。そして、イラク民兵の一部、大使館を攻撃したイラク民兵組織の代表たちは、実際に、ホワイトハウスでオバマ大統領のゲストでした。それくらい狂っていたんです。前政権はイランと協力しただけでなく、アメリカの利益よりもイランの方を支持していた、と私は思います。その後、新しい政権になって、トランプ大統領は、初日から、中東にはあまり興味がない人物のように見えました。戦争することには確実に関心がありませんでした。そして、私はこれを事実として知っているのですが、イスラエルでは多くの人々が非常に心配していました。サウジアラビアのアラムコの石油精製所がイランに攻撃されたときのことです。そして、それは推測でもありませんでした。我々は皆、イランがそれを攻撃したことを知っていました。それに対する反応が弱く、現実にイランに対する軍事行動がなかったとき、イスラエルは非常に警戒しました。そして、言わせてもらえば、一よく注意して聞いてくださいーこれは天才的なことでした。なぜ天才の仕事のなのか？彼はイラン人を眠らせた。イラン人は完全に確信していました。アメリカはよくしゃべるが、しかし行動となると、彼らは何もしない。そして、それはまさに72時間前まで、彼らが思っていたことです。

では、実際の暗殺についてお話しさせてください。何が起こったのか、なぜか。だからまず、9日ほど前に…、いえ、2ヶ月前に戻りましょう。2ヶ月前、ソレイマニとアヤトッラー・ホメイニは、イラクとレバノンには暴動が多すぎると判断しました。そして、彼らはイラン政権から注意をそらせる必要があります。彼らはイラクにあるアメリカの軍事資産に対する攻撃を開始することによって、そうすることができます。そして、彼らは何度も攻撃していました。先週の攻撃は、最初の攻撃ではなかったことをご存じでしょう。たぶん30回目のもので、アメリカの基地に30発のロケット弾が発射されたのは初めてだということです。そして初めて、アメリカの請負業者を殺しました。民間人でした。そして4人のアメリカ兵を負傷させました。男性と女性です。そして、もちろん、それは9日前に起こりました。7日前、ちょうど先週の日曜日、アメリカは、報復としてイラクにあるイラン支援の民兵組織の五つの基地を攻撃しました。ハッシュ

ド・アル＝シャビとカタイブ・アル＝ヒズボラ、それからもっとあります。そして報告では、イラク民兵の25～70人が死亡したということです。それがソレイマニが青信号を出した瞬間で、電話での会話が引用されました。彼は二段階の計画に進むための青信号を出しました。最初のステップは、激怒した民間人の暴徒によって、バグダッドの米国大使館を攻撃します。さて、彼らが何をしたか。彼らは民兵に民間人のような服を着せて、彼らが激怒した民間人、不安なイラク市民であるかのようにして、彼らを送りました。彼らの使命は、襲撃し、可能であれば大使館を燃やし、人質を取ることでした。トランプだけのことはあります。トランプ大統領は今朝、52ヶ所の標的があると発表したばかりです。1977年にイラン人によって人質にされた52人に対応して。彼は彼らに「そんなことをするな」と警告しています。しかし皆さんにまた知っていただきたいのですが、第2段階は大規模な攻撃をするはずになっていました。同時にもっと多くの大使館を。レバノン…、ところで、ソレイマニはすでに数年前にバイルートで襲撃を手助けしました。2003年だったと思います。バイルートのアメリカ大使館に爆弾を持ち込もうとした2人の男が捕まえられました。それはソレイマニの仕業でした。ソレイマニは、もちろん、これまでで最高の武器ですべての民兵を完全武装し、イラクでは600人以上の米兵が、直接、訓練やソレイマニが民兵に与えた武器のために死亡しました。電話で与えられた直接命令は、バグダッドの米国大使館と話をつけるだけでなく、懸念するシーア派教徒たちの世界的な怒りを示し、より多くの外交官を攻撃すること。人質を取り、イスラエル人とアメリカ人の外交官を殺すこと。そして、それが時限爆弾でした。それは差し迫った脅威で、それがトランプ大統領が議会に承認を求めることなく、このソレイマニ攻撃を命じることを可能にしました。ところで、バラク・オバマは、オサマ・ビン・ラディンを殺したときに、一度も議会の承認を求めませんでした。そうする必要のあるときは、そうするのです。アメリカの民主党員は超偽善者たちです。超偽善者たちがいるだけでなく、彼らは、まだイランに協力しています。したがって、このタイプの秘密計画のことを、彼らに知らせない必要がありました。なぜなら、彼らは確かにその情報を漏らしたでしょうから。そういうわけで、基本的に、それがソレイマニ殺害までのいきさつです。

では、あることを説明しましょう。ソレイマニはその朝バグダッドからバイルートまで行き、ヒズボラの首長ハッサン・ナスララーを訪問しました。おそらく、イスラエルが彼らの精密兵器プロジェクトに何をしようとしているかについて、彼と話しています。イスラエルはそれをとても懸念しており、我々はもう間もなくレバノンで何かをするつもりです。そして彼は民間機に乗り、アサドと会うためにダマスカスまで飛びました。ダマスカスから、彼はその民間機を使って戻り、そして真夜中の約30分後にバグダッドに着陸しました。そして、彼は地元のイラク民兵の首長、アル・モハンデスと彼の副官によって迎えられました。そして、彼はレバノンのヒズボラの副書記長をいっしょに連れて来ました。ですから、いまお話ししているのは、中東のテロの最上級メンバーの集団です。信じられません。一度の攻撃で彼らを全員殺すのは、天才の仕事です。さて、イスラエルの諜報機関がとても重要な役割を果たしたことを、非常に明確にしておきましょう。イスラエルには、それらの指導者たちに最も近い輪の中にスパイがいます。我々は、だれがどこにどうやって行くのかを正確に知っていました。また、現在イラクにもイスラエル人がいることをお伝えしたいと思います。別のことをしているのですが、おそらく現時点では話すべきではないでしょう。しかし皆さんに知ってほしいのは、ソレイマニが完全に確信していたことです。トランプ大統領は、サウジアラビアへの攻撃の後に何もしなかったのなら、相変わらず西側で、弱くて、軽蔑できて、我々は彼らを読むことができ、彼らの匂いを嗅ぐことができ、彼らがいかに情けないかを見ることができる。イランは、そのように西側を見てきたのです。だから、それは西側との恥ずべき合意だったのです。なぜなら、その合意はイランがいかに嘘つきかを示し、そして、いかにイランが西側世界のことを笑っているかを示したからです。彼らは、彼らがどう考えるかを知っているから。負け犬のリベラルな考え方です。すぐにあきらめ、悪に立ち向かうのではなく、実際に悪に屈します。そのため、彼はそれが来るとは予期しませんでした。傲慢さ、そして私が概念と呼ぶものです。それがバグダッドの緑地帯にいたアメリカ兵たちから1マイル（約1.6Km）離れた場所にソレイマニを着陸させた2つのものです。「傲慢さ」は、もちろん、「彼らは私には触れない」と考えること。そして、「概念」というのは、民主党が彼に約束したのです。――聞いてくださいよ。アメリカの民主党員は、彼らがトランプを倒すために動いていると彼に約束しました。彼らがトランプを弾圧しようとする、そして、彼らが再びホワイトハウスを奪い取るやいなや、彼らはすぐにイランとの取引を提供すること。イランは再び数十億ドルを取り戻すだろうこと。すべて問題なくなる、と。民主党はまた、イラン

人にトランプは弱い大統領だと考えさせました。選挙の年だし、弾圧プロセス中に彼は絶対に、あえてそんなことをする気にはならないだろう。だから、その概念は間違っていました。そこには傲慢さがありました。そして、もちろん、それは4つのヘルファイア（対戦車ミサイル）を発射したプレデター、UAV（無人航空機）からの攻撃につながりました。そのUAVドローン、プレデターが発射したミサイルが「ヘルファイア（地獄の炎）」と呼ばれることは、とても象徴的だと思います。あれらのミサイルがひとりも無傷で残さなかったのは、ご存じでしょう。今日、イランに埋葬されたのはカセム・ソレイマニの遺体でした。私は彼の遺体の写真を手に入れました。バックパックにそれらを入れても、まだいくらかの余裕があるでしょう。ヘルファイア・ミサイルが直接車両に当たったら、だれも生き残ることができません。しかし確かなことが一つあります。彼が手につけていた有名な指輪によって、だれもが簡単に彼を識別することができました。その辺り一帯には、10の異なる遺体がありましたから。ヘルファイア・ミサイルが当たると、だれがだれなのかを判断するのは難しいです。その指輪は、間違いなく決定的にしました。それで私たちは、彼がそこにいたことを知っています。皆さん、それが十分でなかったとしたら、トランプ大統領は、戦争を求めていると発表しました。そして、これは戦争の可能性を止めるため、戦争の可能性を開始するためではありませんでした。しかしイラン人はいま、ものすごく恥ずかしい思いをしています。私はリンジー・グラハム上院議員が脅迫するために送られたことを知っています。万が一、イランが愚かなことをした場合に。

次は、あちらの米軍の標的について。そのためにF-35とF-22は非常に重要です。イランの石油産業は…、さて、イランには製油所はありませんが、明らかに石油を産出している油田をいろいろ持っています。そして、これはお金を稼ぐのにイランに残された最後のものです。お金の80%または90%は、すでに制裁によって消えています。アメリカがそうすることを選択するならば、イランがまだ持っている少しばかりのものを一時間以内に排除することができます。だからイランはいま、非常に大きなジレンマ（葛藤）にあります。イラン人は、すぐに脅迫を持ち出しました。テルアビブを含めて、中東の米軍の35ヶ所を標的に特定したと。トランプ大統領は抑止策で…、彼は先の大統領たちのように、おしっこを漏らしたりしませんでした。彼はすぐに言いました。「へえ、あなたたちは35ヶ所ですか？面白いね。じゃあ、ポーカーをしましょう。私は17から52に増やします。私には52ヶ所の標的がある。万が一あなたが何かをしようものなら、それらのすべてが消えてしまいます」信じられないかもしれませんが、国連と米国議会の一部は、それを戦争犯罪と呼んでいます。毎年、何千人もの人々を殺した男が殺され、そして彼を処罰した人たち、彼らは言います。「私たちはだれのことも追っていない。我々は戦争を求めている」その彼らが今、戦争犯罪で非難されています。それは、これら“ポリティカルコレクト”のリベラル派が、いかに狂っているかを教えてください。彼らはイランの味方をしています。自国側よりも。まだ生きていても負傷している、すべての退役軍人よりも。そして、ここ数年のソレイマニの活動のために死んだ、すべての死んだ兵士たちよりも。

皆さん、ではこれから、このこと全体が持っている聖書的な意義についての要点をお話しします。さて、覚えておいてください。一ところで、まだ言っていませんでしたが、今朝、ケニアの早朝、アル・シャバーブを攻撃する試みがありました。ソマリアのアルカイダは復讐したがっていました。彼らは長い間、アメリカ軍と国連軍を攻撃しようとしてきました。アメリカは先週、その面倒を見て、彼らのテロキャンプを爆撃しました。その報復として、彼らは今日、ケニアの海岸にあるキャンプ・シンバというアメリカ軍キャンプを乗っ取るうとしました。そして、私たちは自動車爆弾が外で爆発したことを知っています。そして、空からUAV（無人航空機）の介入があり、実際に大惨事が阻止されたのだと思います。ほとんどのチャンネルが何も報告していないときに、私はそれを報告しました。しかしありがたいことに、「アメリカ軍に大きな損失が出た」とアル・シャバーブが報告したことは、正確ではありませんでした。そしてありがたいことに、そのテロ攻撃は、実際に軍事的なやり方で阻止されました。だから繰り返しますが、私はとても感謝しています。それは本当の話でしたが、結末はずっと良いものでした。だから、私たちがそれらすべてのことについてお話したことを理解してください。いまのイランはものすごく、ものすごく弱いです。なぜでしょうか。なぜなら、切り札のソレイマニはいなくなり、後継者はソレイマニに少しも及ばないからです。しかし、イランの問題は、スパイがいることが分かったということです。彼らは自分たちが完全に暴かれて、無防備なことを理解しています。そして、周りのだれもがそれを理解しています。羊飼いを打つと羊がすべて散らばる。基本的に、それが起こったことです。彼らは復讐の赤い旗を掲げました。しかしイランの聖地、コム

町のモスクの上の赤い旗は、私に言わせれば、どちらかという白旗です。彼らは、この時点で自分たちにできることはあまりないと理解しているので、だから、基本的に彼らが言っているのは、「私たちは復讐しますが、いまはしません」ということです。そして、イラン革命防衛隊の司令官が数時間前に言ったのは、「すぐに復讐するよりも、痛みを伴う復讐を待つ方が良い」ですから、もちろんそれは私たち全員が考慮する必要があります。イランはアメリカを攻撃できないと理解しているので、イランはアメリカの同盟国に対して陰謀を企てています。そして、それによってこの出来事の聖書的な意義を考えさせられます。皆さん、理解してください。聖書はアメリカとイランの戦争について語っていません。聖書はまた、世界を乗っ取るようとするイランの試みについても語っていません。聖書は非常に具体的なものを示しており、それは次の通りです。

- A)イランはイスラエルに対抗する連合に加わる。イランだけではイスラエルを攻撃しません。
- B)イランだけでは、それができない。
- C)中東は今日、イスラエルを破壊したい人々と、それが間違いだと思っている人々の間で分裂している。しかし、イスラエルを愛する人々とイスラエルを憎む人々の間で分裂しているわけではありません。

その攻撃が来るとき、イスラエルを助けるのはだれもいません。エゼキエル38章は、非常にハッキリとさせています。イスラエルを助けに来る唯一の者は神で、超自然的な方法でなされます。イスラエルとスンニ派アラブ世界との関係がいま、良くなってきているとはいえ、それでも、彼らが私たちを助けることはありません。それでも、彼らは介入することはありません。彼らはただ傍観し、イスラエルでの攻撃に参加せず、それを批判します。それだけです。皆さんはそれを理解しなければなりません。私たちがいま見ているものには、大きな聖書の意義があります。なぜでしょうか。私には、まず言いたいことがあります。私は今までの人生の中で、そのようなアメリカ大統領を見たことがありません。私はまだ47歳なので、若すぎて偉大さが何なのか理解できないのかもしれませんが、しかし私は皆さんに言えることが、一つあります。トランプ大統領がホワイトハウスにいる限り、イスラエルはイランに攻撃されることはありません。なぜなら、イランにはハッキリしているからです。彼らの悪質な計画を実行するためには、ホワイトハウスからトランプを追い出すことが必要だと。イランには明らかです。彼らはそれを知っています。彼がそこにいる限り…。

また、選挙の話です。イスラエルとアメリカの両国における今後の選挙。イスラエルの3月2日の選挙と、アメリカの11月の選挙。私が間違っていなければ、アメリカは11月3日です。――聞いてください―― それらがイスラエルへの攻撃、エゼキエル戦争に私たちがどれだけ近いのかを決定します。なぜでしょうか。トランプ大統領がホワイトハウスにいる限り、イランだけでなく、世界は…、彼が昨日したことは、メッセージを送ることです。アメリカはアメリカ兵の殺害を容認しないこと、アメリカの同盟国を攻撃することも。サウジアラビアや、もちろん、イスラエルも。そしてもちろん、エジプトやヨルダンや湾岸諸国は、すべてその一部です。だから皆さん、私は皆さんに伝えているのです。これらの選挙での皆さんの投票が…、イスラエルでネタニヤフを維持することに関しては、彼がエンジンですから。イランに対して容赦なく取り組んでいた世界で唯一のエンジンです。彼らの本性を知っているのです。そして、トランプ大統領をさらに4年間、ホワイトハウスに留めておく。これは極めて重要です。私に言えるのは、イランはトランプが民主党に敗北するのを当てにしているということです。そして、彼らはそれが起こるまで待つつもりです。皆さん、非常に興味深い1年になりますよ。イスラエルでは年の初め、米国では年末。しかし皆さん、トランプがホワイトハウスにいる限り、イランは何であれ、やろうと計画していることを実行することはありません。トランプが送ったメッセージは、ロシア、トルコ、サウジアラビア、スーダン、リビアにハッキリと届きました。それは明らかに世界中で聞かれました。しかしメッセージはまた、ある意味で私たちが自分の選択によって、何とか物事のタイミングを決定することができるというものです。説明させてください。それは間違いなく起こります。エゼキエル38章と39章は起こります。それには疑いの余地はありません。私はそれが起こらないと言おうとも思っていません。しかし、私には言えます。私たちの投票は…、思い出してください。私たちは地の塩です。塩は肉の分解を遅くしています。または塩は物事の腐敗を遅らせています。私たちがここから取り除かれると、事態はエスカレートします。しかし私はまた、皆さんに知ってほしいのです。私たちは、私たちのうちに引き留めるもの、聖霊を持っている者たちです。そして、私は何度も言ってきました

たが、引き留めるものは、世界に対する神の裁きを引き留めているのです。サタンは変わらないからです。彼はいつも何かしています。聖書は、反キリストの到来はサタンの働きによると言っています。そして、さまざまなしるしと不思議などを伴って。それが彼です。彼は殺し、欺き、盗む者です。そして、私には言えます。皆さん、私たちの投票は重要です。私たちの投票は、聖書の預言に照らしても重要です。私たちの投票は、物事がどのように起こるか、そしていつ起こるかにしても重要です。私たちがここからいなくなってしまうたら、すべてがエスカレートするのを見るのは、非常に興味深いでしょう。だから、トランプがホワイトハウスを去る前のエゼキエル38章の攻撃に関して、私に見える二つのオプションは…、失礼しました。私が見る二つのオプションは、トランプが今度の選挙で負けて、それから、いわゆる自然中絶になるか、あるいは、皆さん、政権が交代するために、私たちがここから取り除かれます。これは驚異的です。私はここ数日、私の良い友人、ジャック・ヒブス牧師を見てきました。彼はFaith Initiative (信仰イニシアチブ) に参加しています。彼らはトランプを支持する福音主義者たちです。トランプに、あと4年間の任期を与えるためにいま推進されている価値観は、純粋な聖書の価値観です。純粋な聖書の価値観。彼が選ばれたことを、その周りにある聖書の価値観と切り離すことはできません。そして、私たちがここから出るとき、それらの価値がここからなくなります。そして、当然、だれが残されても、それは他のすべての価値を受け入れる人です。そして、それを承認するだけでなく、それを促進し、それを祝います。だから私たちが何を投票するかは、すごく、すごく重要だと思います。そして投票に行くとき、私たちはそれらのことを覚えておく必要があります。

いま中東で起こっている出来事には、聖書的に大きな意義があります。イランは今日、これまで以上に、単独では行動できないことを理解していることを忘れないでください。イランはあまりにも弱く、あまりにも脆弱です。だから、エゼキエルが非常に明白にしているのです。その復讐、あるいは攻撃は…、そしてもちろん、彼らはイスラエルを攻めてきます。彼らはアメリカを攻めることはできません。いつもそうなのです。知ってのとおり、攻撃はイスラエルに対するものとなります。そして、その攻撃は、彼らが自分たちよりも大きなだれかがイスラエルを攻めようとしているのに飛び乗ることができると感じるときに起こります。そして、それは言うまでもなく、マゴグの地のゴグです。そして、それは私の意見ではロシアです。ですから、それまでは私たちは驚くべきことが起こっているのを見ています。私たちは、悪を悪と呼ぶのを恐れない世界的リーダーを見ています。そして、彼はやるべきことをやることを恐れていません。そして、アメリカは目を覚ます必要があります。アメリカの民主党はイランと協力しているのです。そして真面目な話、議会に入る情報、民主党の手に入ってくるどんな情報も、イランのシークレットサービスの机に簡単に届くことができます。ほんの数年前にそれらのテロリストたちがホワイトハウスのゲストであったのは、本当に心が痛みます。そして彼らは今、反アメリカの活動を仕切っています。破壊して殺そうとし、米国に恥をかかせようとしています。まあ、これはベンガジタイプの大統領ではありません。ベンガジは彼の監視の下では起こりません。そして、彼はそれを非常に明確にしました。そして皆さん、ニューヨーク・タイムズは、トランプが自国民に衝撃を与えたと言おうとしています。ソレイマニを殺すシナリオを選択することによって。それは本当じゃありません。真実ではありません。皆さんは、ポンペオのことをよく知っていますね。そしてトランプのことをよく知っていれば、それが真実ではないことも分かるでしょう。国防総省の精神が変わったことが分かるでしょう。そして、国務省の精神も変わりつつあります。そして、もちろんホワイトハウスでは…、アメリカがいま示しているのは抑止力であり、そのメッセージはイランに届きました。そして私が言ったように、赤い旗は、現在、コム市のモスクにあります。この時点では、どちらかという白旗です。たしかに、彼らは復讐を望んでいます。そして、私の言うことを信じてください。彼らは、今後数日、数週間、または数ヶ月に起こるどんな小さな事も、復讐の一部だと言うでしょう。しかしトランプ大統領は、それが自分の監視下で起こることを許さないと決意しています。さて、私は皆さんに言えます。私は全面戦争を恐れていません。大きな戦争が起きるとは思いません。次の大きな戦争はロシアが始める戦争であり、イランはその機会に飛び乗るだろうと思っています。トランプ大統領がしたことは、イランとの戦争を始めることではなく、現実、その可能性を止めることだと思います。そして私は、イランが、自分たちがこの紛争に勝つチャンスが全くないことを理解していると信じています。

いいでしょう。皆さんがすべてを理解されたかどうかは分かりませんが、皆さんはこれをシェアされるといいかもしれません。もう一度見てもいいかもしれません。私は皆さんに、たくさんの情報を伝えました。私たちは1977年までさかのぼりました。1999年にソレイマニが革命防衛隊のコッズ部隊の長になったことを話しました。そして、もちろん過去2ヶ月の出来事を順を追って見てきました。過去9日間、7日間、6日間、および、この48時間です。皆さん、ジックリと考え、かみ砕き、祈るべきことがたくさんあります。でも、覚えておいてください。私たちの神が支配しておられます。忘れないでください。私たちの希望は主にあり、主にあって私たちは動き、私たちは主にあって存在し、私たちはどこに向かっているのかを知っています。私たちは恐れるべきではない。今日、私からあなたへの質問は、あなたはどこに行くか知っていますか？そうでない場合は、いまが知るべき時です。あなたが知っていることを確認すべき時です。聖書は第1ヨハネの中で言っています。

これらのことを書いたのは、私たちが永遠のいのちを持っていることを知るためです。

(第1ヨハネ5章13節参照)

私たちは推測するのではありません。私たちは、それを持っていることを知っています。いいでしょう。アロンの祝祷で締めくくり、皆さんを送り出しましょう。これをYouTubeやフェイスブックでシェアしてください。そして、ツイッターでフォローしてください。#Behold Israel フェイスブックはBehold Israel YouTubeもBehold Israel。それから、もちろんインスタグラム。BeholdIsrael 一語です。

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記6章24節から26節/ヘブル語)

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記6章24節から26節/英語)

これは私たちが必要とする平和であり、今も永遠にも、どこでも私たちに平和を与えてくださる平和の君です。そして、彼の名はイエシュア、私たちの救い、そして、イエスの御名によって、私たちは祈ります。アーメン。アーメン。

ありがとう。愛しています。シンガポールからです。神が皆さんを祝福されますように。

明日の朝早く、私は非常に多忙な講演ツアーを開始するためにフィリピンに飛びます。イスラエルにいる私の家族のために祈り、私とバリー・スタグナー牧師のために祈ってください。彼は数日後にマニラで私といっしょになって、そして、もちろんダバオでもご一緒します。そして、その後、私たち二人はプロクシメティ・カンファレンスのために米国に戻ります。

皆さん、重ねてありがとうございます。神があなたを祝福されますように。

シンガポールからシャローム。

バイバイ



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.01.13 (Mon)